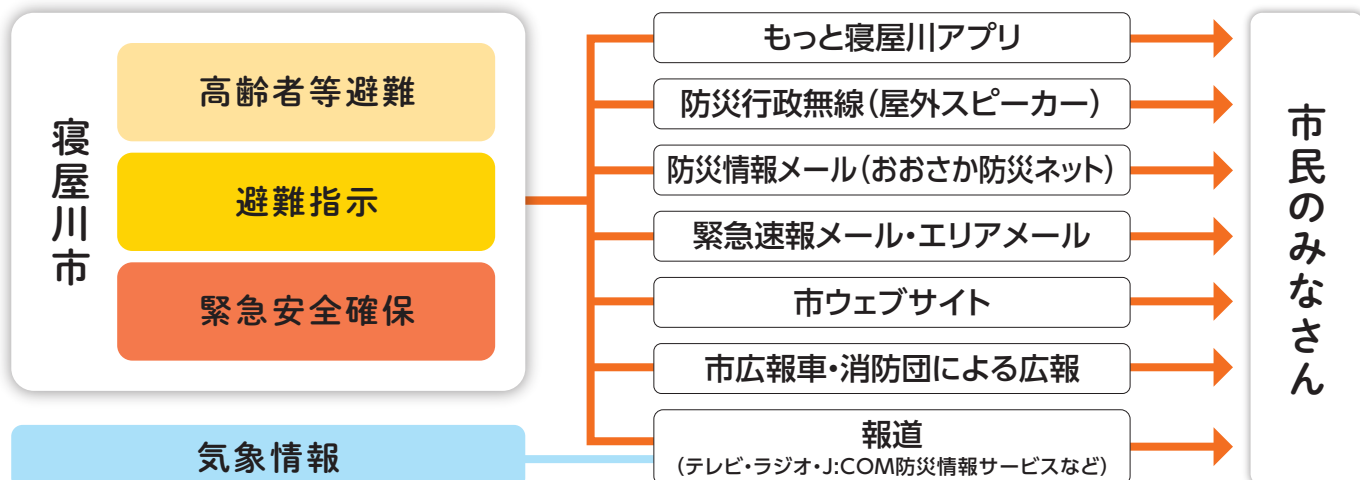


情報伝達の流れ



※防災行政無線の内容を聞き漏らした場合は、防災行政無線電話応答サービス(072-824-2037)または市ウェブサイトを確認できます。

浸水等の想定と目安

浸水深等	家屋浸水の状況
5m以上	2階屋根以上が水没
2m~5m	2階部分が水没
1m~2m	1階部分が水没
50cm~1m	避難が困難となる
50cm未満	床下が浸水

1時間に降る雨量

5~10mm



一般的に見られる雨ですが、音が大きく聞こえます。

10~20mm



雨の音で話し声が聞こえにくくなります。長く続くときは注意が必要です。

20~30mm



側溝や下水、小川があふれ、小規模なげ崩れがはじまります。

30mm~



バケツをひっくり返したような雨。道路が川のようになります。

避難時の防災情報

寝屋川市 都市デザイン部 都市一課
072-825-2673

寝屋川消防署
072-852-9966

寝屋川警察署
072-823-1234

避難時の注意点

移動は安全を保ちながら

底が厚くてひもでしめられる運動靴をはき、長い棒で足元を確認しながら歩きましょう。



水辺に近づかない

川や用水路には絶対に近づかないようにし、橋もなるべく避けましょう。



持ち物は最小限に

荷物は最小限にして背負い、両手が使えるようにしましょう。

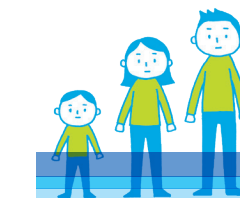


車は使わない

渋滞時に動けなくなり、緊急車両の妨げになるので控えましょう。



外出をしない目安



浸水しているとき

少しでも浸水していたら、避難を控えましょう。濁った水で側溝などが見えず転落したり、早い流れに足をとられて転倒の恐れがあり非常に危険です。



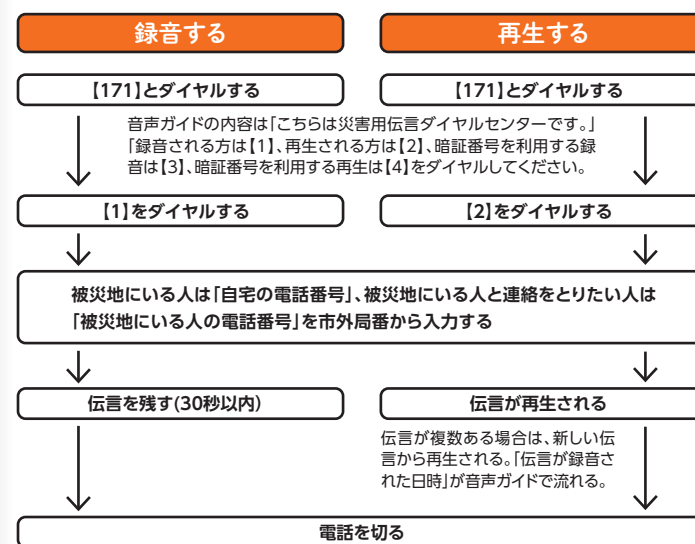
夜間などで暗く路が見えないとき

夜間の避難は浸水していなくても危険です。暗くて足元が見えないほか、激しい雨音で周囲の音が聞き取りづらくなることも。

安否の確認

災害用伝言ダイヤル171

災害時、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。伝言の録音・再生で安否などを確認できます。



事前・災害時の情報収集

おおさか防災ネット

あらかじめ登録した府民に対し、府内の災害情報メールを配信。ウェブサイトでは、幅広い防災情報を集約して掲載しています。



おおさか防災ネット寝屋川市
<http://www.osaka-bousai.net/neyagawa/index.html>

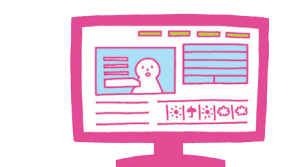
もっと寝屋川アプリ

暮らしに役立つ情報を提供するアプリです。普段の生活情報のほか、防災マップや避難所情報など多様な情報を提供しています。



ダウンロードはこちらから
iOS (iPhone) 用 Android 用

テレビ(dボタン)



テレビのdボタンを押せば、データ放送を通して災害情報や避難所開設状況、ライフラインなどの情報を見ることができます。

市ウェブサイトやアプリ



市ウェブサイトやアプリで災害情報を確認したり、災害を事前に知らせるアプリや災害時に役立つ地図アプリなどを活用しましょう。

ため池の役割

ため池は、雨が少なく、大きな河川から離れた地域等で、農業用水を確保するために、水を貯めておく人工的な池のことです。

水辺空間の形成

都市化の進行や開発によって緑や水辺空間が減少する中、水に親しむことのできる場所を提供しています。

農業用水としての役割

雨が少ない地域では、古くから農業用水をため池に貯め、利用しています。

防災としての役割

大雨時の洪水調節や、火災時の防火用水としての役割があります。

